

豪雨災害 日本共産党の立党の精神発揮し 被災者支援を最優先に

中国ブロック交流ニュース

発行／日本共産党国会議員団中国ブロック事務所

〒703-8288 岡山市中区赤坂本町 1-31 2018/7/26 NO. 11

TEL086-273-7747 FAX086-272-7108 Email jcp-chu@mx36.tiki.ne.jp

岡山市東区上道事務所 ボランティア延べ306人 延べ94軒への救援

党事務所が「被災者支援拠点センター」として大奮闘

7月25日 大平さん 事務所を激励 砂川決壊現場を視察



床上浸水 1569 戸、床下浸水 661 戸の被害を受けた岡山市東区平島地域では、災害直後から竹永光恵市議を先頭に党組織が救援活動を開始し、10日には党の上道事務所を「救護所兼災害支援センター」として立ち上げました。そして7月24日までの15日間に延べ306人のボランティアが参加、泥だし、掃除、運び出しなどで延べ94軒の救援活動を行ってきました。

この活動は、町内会長や他党の議員からも感謝されるほどでした。

大平喜信前衆議院議員は、7月25日事務所を訪ねて竹永市議をはじめ事務所メンバーを激励し、その後、浸水の原因となった砂川の決壊現場を視察（写真）、近所の被災者を見舞いました。そして、市議団・県議団と共に大森雅夫岡山市長に被災者支援の申し入れをするとともに、国への要望を聞きました。

熱中症対策 高齢者の電気料金減免を

全国各地で熱中症の被害が続出しているなか、日本共産党広島県委員会の高見あつみ参議院広島選挙区予定候補は、中国電力本社に対して「熱中症予防に向けた電力料金引き下げ」の申し入れを行いました。（写真）

申し入れ書には、熱中症予防のためにクーラーの使用が呼びかけられていますが、高齢者のなかには、「節約のためクーラーは使わない」といった状況もあります。ぜひ「高齢者世帯を対象に夏季期間中の電力料金を引き下げてほしい」と要望しています。



倉敷市・広島市 被災者の声と党の論戦 制度を動かす

被災者と一緒とその声を行政に届ける日本共産党の地方議員の奮闘は、行政による広島市での私有地土砂の撤去や倉敷市真備での罹災証明一括「全壊判定」などこれまでの制度の枠を超えた自治体の動きをつくっています。（左は新聞報道）